

【大項目：読むこと】

【小項目：カタカナの読み】

カタカナはひらがなと同じく表音文字であるため、漢字と違い、字そのものに意味はありません。字そのものに意味がないということは、覚える手がかりがなく、覚えにくいということになります。また、カタカナはひらがなに比べて使用頻度が少ないことや、ひらがなに比べて一般的に学習時間が少ないため、定着しにくいという側面もあります。ただし、カタカナを学習する際は、ひらがなは覚えているという前提があるため、カタカナの読みを習得する際に、ひらがなを活用して覚えることが考えられます。さらに、意味を持たないカタカナに意味づけをするために、児童生徒にとって身近なものをイラストとして扱い、そのイラストの名称をカタカナであらわすといった方法が考えられます。